

いっしょに歩こう！ プロジェクトって？



日本聖公会の東日本大震災における被災者支援「いっしょに歩こう！プロジェクト」は、悲しんでおられる方々、苦しんでおられる方々とともに歩かせていただきたいと考え、ことに障がいを持つ方々やご高齢の方々、子供たち、外国からの方々など、特に困難の中にある方々に思いを寄せて活動を行っています。

まどか荒浜との出会い

いっしょに歩こう！プロジェクトは、元・仙台キリスト教会の信徒（現在は横浜聖アンデレ教会の信徒）の方が懸け橋となって、「まどか荒浜」という通所作業とつながりを持つに至りました。

「まどか荒浜」は知的障がいを持つ通所者の社会的・経済的な自立のための支援施設です。



震災前は利用者 44 名、職員 13 名。施設長の中村正利さんの導きのもと、海岸から約 1km の仙台市若林区荒浜で、茶房「まどか庵」、和菓子販売、和紙製品販売などの事業をしてきました。地域との連携をとりながら知的障がいをもつ方とそのご家族の方を支えています。

震災とまどか

3 月 11 日東日本大地震の発生後、利用者、職員とも直ちに避難し、利用者の皆さんは全員無事でしたが、職員の一人が津波に巻き込まれて亡くなりました。

「まどか荒浜」のあった仙台市若林区荒浜地区一帯は甚大な津波の被害を受け、「まどか荒浜」の建物も外枠は残ったものも破損がひどく、修理して再利用することは困難になりました。



しかし、利用者の皆さんの生活の場所を一日でも早く取り戻したいという強い思いで、職員の皆さんは震災直後の 3 月 23 日より福祉施設「仙台ワークキャンパス」（仙台市太白区）の一部を借りて仮の作業所とし、「まゆ」を使った製品の製造作業を始めました。2012 年 6 月、仙台市太白区に新たな施設が完成し、名前を「まぢの工房 まどか」に改め、これからまゆ細工に加えてパンの製造・販売、シルクスクリーン印刷などを行います。

私たちにできること

プロジェクトでは「まどか」の製品を毎月一定量買い上げています。「まどか」の製品を継続的に購入することにより、**仕事を作り出す**ことができ、その成果として利用者の皆さんに工賃が支払われます。工賃は、自立した生活を支える貴重な収入源です。多くの注文が入り、利用者の皆さんはモチベーションを高く保ちながら製造作業をしています。

「まどか」のファンが増え、このプロジェクトの活動が終了した後もそのつながりが継続されれば、今後の「まどか」の自立へと繋がります。それがこのプログラムの最終的な目標でもあります。

私たちは利用者の方々の生活に張り合いが出るよう、**希望を持てる**ようにと祈りながら、一日も早い事業の復興と安定した作業環境・就労の支援をし、いっしょに歩こう！と考えています。



まどかの商品・試作品の一部です。
100%国産のスキンケア用の繭玉やかわいいダルマの起き上がりこぼしなど…

日本聖公会の特注商品



↑2011年の特製クリスマスオーナメント。
模様もいろいろ。ゆらゆら揺れてかわいいです！

「いっしょに歩こう！プロジェクト」は、まどかの商品を毎月買い上げています。事務局を通じてお手元にお届けできるように準備しています。また、その他の商品はプロジェクト専用 FAX 注文書を用いて皆さんが直接「まどか」に注文をし、購入していただくこともできます。

詳しくは「いっしょに歩こう！プロジェクト」のホームページ (<http://www.nskk.org/walk/>)、ニュースレターでお知らせします。

(2012年10月1日)



まぢの工房 まどか

〒981-1102

宮城県仙台市 太白区袋原 4丁目 37-1

TEL 022-302-4620 FAX 022-242-3720



いっしょに歩こう！プロジェクト 日本聖公会東日本大震災被災者支援

仙台オフィス

〒980-0803

宮城県仙台市青葉区国分町 3-4-5

クライビル 2F

電話 022-265-5221・FAX 022-748-5321

<http://www.nskk.org/walk/>



聖公会は、カトリックの伝統を受け継ぎつつ、16世紀に英国国教会として始まった教会です。現在全国に約300の教会・礼拝堂があり、礼拝と信仰生活が守られています。立教大学等の教育機関、聖路加国際病院などの医療機関や社会福祉施設、幼稚園、保育園も多くの幅広く活動しています。

いっしょに歩こう！プロジェクト
support for

まぢの工房 まどか



2012/10/1